

1. 2021年度年会について

慶應義塾大学理工学部が開催します2021年度年会は以下の通り行われます。

会場：慶應義塾大学理工学部 オンライン開催

日時：2021年3月15日（月）より3月18日（木）まで
（市民講演会は3月14日（日）の予定です。）

開催情報のページ：<https://www.mathsoc.jp/activity/meeting/keio21mar/>

一般講演の講演時間は最長15分とします。これについては、「2. 年会および秋季総合分科会における一般講演の講演時間と申し込み件数」をご覧ください。

2014年度年会から、アブストラクトPDFのフォントをアウトライン化した結果をオンラインシステム上で確認する手続きを導入しました。また、2013年度年会から講演の英文サマリー投稿を正式な講演申し込み手続きに加えしましたので、今回の講演申し込みでも同様をお願いいたします。

今回はオンライン開催のため、すべての講演は、学会初日に講演アブストラクト（冊子体および電子媒体）を発行することにより、講演が成立したとみなします。

電子媒体の講演アブストラクトは、日本数学会ホームページにて会員のみが閲覧およびダウンロードが可能となります。

さらに今回は、以下の2つのオプションを選択することが可能です。

【講演オプション1】（講演スライドのアップロード公開）

講演者の希望により「講演スライド」を日本数学会ホームページへ掲載することができます。講演申込締切後にスライドアップロード期間を設けますので、講演申込時のスライドのアップロード希望の申告は不要です。

「講演スライド」は、会員のみが閲覧およびダウンロードが可能となります。

準備ができ次第、アップロード方法の詳細を開催情報のウェブページに掲載いたします。

【講演オプション2】（講演のオンライン配信）

講演者の希望により「講演のオンライン配信（Zoom ウェビナー使用によるライブ配信）」を行うことができます。

プログラムの時間通りに行われる「ライブ配信」は会員のみが視聴可能となります。

また、通信環境によって視聴できない会員に配慮して、講演日から3日間、Zoomクラウドで保存した動画データを視聴できるようにします。この録画は会員と賛助会員が視聴できます。

オプション2（講演のオンライン配信）を選択する場合は、録画された動画の公開範囲・公開期間を理解し、録画に関する同意が必要です。ご注意ください。

オンライン講演を希望する場合は、講演申込時に必ず「オンライン講演」の希望を申告してください。講演申込締切直後にプログラム作成に取り掛かりますので、締切後のオンライン講演希望は受け付けません。

オンライン講演配信の詳細についても準備ができ次第、開催情報のウェブページに掲載いたします。

なお、上記の2つのオプションは両方あるいはどちらか一つの選択が可能です。

a) 講演申し込みについて

この年会で講演することを希望される会員は、原則としてオンラインシステムを用いてお

申し込み下さい。オンラインシステムが利用できない会員のために講演の機会を保証する方法については、「5. オンラインシステムが使えない会員の講演申し込み・アブストラクト投稿について」をご覧ください。なお、2015年度年会の講演申し込みから登壇者のみが講演申し込みを行えるようにオンラインシステムを変更しましたのでご注意ください。

「無限可積分系」セッションについても、講演の発表、募集は分科会と同じように公募形式を取り、特別講演も分科会と同様に行います。講演希望の方は、オンラインシステムの「希望分科」欄を「XI 無限可積分系」として下さい。

オンライン開催のため、「発表方法（書画カメラ、プロジェクタ）」についての申告は不要です。

なお、大会運営上の都合から講演時間及び講演件数を制限することもあります。

アブストラクト（予稿）原稿も、下記の注意に従ってオンラインシステムを用いて投稿して下さい。

オンラインシステム（APP サーバ）の URL:

<https://app.mathsoc.jp/meeting/keio21mar/>

オンライン講演申し込みと予稿投稿の締切：**11月20日（金）23時59分**

（オンラインシステムの受付開始は10月30日（金）00時00分とします。）

問い合わせメール受付期限：**11月18日（水）17時00分**

（事務局への電話での問い合わせは、一切受け付けません。時間的余裕をもって進めて下さい。）

申し込み件数の制限：1人当たりすべての分科会・特別セッションでの申し込み件数を合わせて6件以内とします。ただし、この件数に共同発表者が申し込む件数は繰り入れません。また、応用数学分科会では、申し込み件数を1人当たり2件以内とします。

アブストラクト原稿：2017年度会員名簿内の“学会アブストラクトの書式”に従って作成して下さい。オンラインシステム導入にあたって、2011年度版から書式を大幅に改定しましたのでご注意ください。（開催情報のページには“学会アブストラクトの書式”およびアブストラクト作成用 LaTeX クラスファイルのページもリンクしてあります。）

一般講演のアブストラクトのページ数は応用数学分科会を除き2ページを上限とします。また、応用数学分科会の場合は4ページが上限です。

過去の大会において講演申し込み・アブストラクト投稿にオンラインシステムを用いましたが、講演申し込みデータにおける講演題目および共同発表者がアブストラクトでの記述と食い違っている例が多数ありました。講演申し込みおよびアブストラクト投稿の際は、このことについて十分ご注意ください。なお、特別講演および企画特別講演のアブストラクトは講演者（＝登壇者）による単著としますので、ご留意願います。

アブストラクト投稿で、カラーの画像を含んだ PDF ファイルが散見されます。アブストラクトの印刷自体は白黒ですので、それがどのようになるかは印刷所の状態によります。情報システム運用委員会では画像の白黒化はしない形で分科会評議員と特別セッション責任者に PDF を渡すことにします。また、アブストラクトを事前・事後公開する場合も、カラーの画像のままとします。以上のことをご理解の上で、カラーの画像を PDF に含めるようにして下さい。

なお、2017年度秋季総合分科会より分科会・特別セッションによっては、アブストラクトを会員限定で事後公開します。詳細は、「数学通信」22巻1号（2017年5月号）104ページ「日本数学会 年会・総合分科会のアブストラクトの事後公開の実施につい

て」をご参照願います。

2021年度年会において、一般講演アブストラクトの事後公開を実施する分科会・特別セッションは以下の通りです。

数学基礎論および歴史分科会	代数学分科会	幾何学分科会
関数論分科会	応用数学分科会	トポロジー分科会
「無限可積分系」セッション		

キーワード・分類コード・近い分野：数学基礎論および歴史，代数学，関数論，実関数論，統計数学，応用数学各分科会への講演申し込みにあたっては，オンラインシステム上でそれぞれ次の分類コードから選択します．この場合，オンラインシステムではキーワード・分類コード・近い分野の選択がないとエラーとなりますのでご注意ください．

数学基礎論および歴史分科会：1 [数学基礎論]，2 [歴史]

代数学分科会：1 [代数幾何]，2 [数論]，3 [群論]，4 [表現論]，5 [環論]，6 [可換環論]，7 [その他]

関数論分科会：1 [1変数関数論]，2 [多変数関数論]

実関数論分科会：1 [フーリエ解析]，2 [関数空間]，3 [発展方程式]，4 [バナッハ空間の幾何，不動点定理]，5 [測度論，積分論]，6 [その他]

統計数学分科会：1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，3 [確率分布，標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，5 [多変量解析]，6 [時系列解析]，7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近理論]，9 [応用統計]，10 [推測理論] (3-7に含まれないもの)，11 [その他]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]，2 [離散系応用数学]，3 [その他]

上の分類コードは，講演申し込み数の動向などに応じて改訂を検討することになっていきますので，ご意見を連絡責任評議員までお寄せ下さい。

講演題目中の数式：すでに「数学通信」14巻4号(2010年2月号)掲載の会報136「8. 年会および秋季総合分科会の一般講演のタイトルについて」でお願いしましたが，講演題目に用いる数式は最小限に留めるようお願いします。

b) 学会講演申し込み書・学会プログラムの名誉教授の扱いについて

2008年3月28日の理事会にて「学会講演申し込み書には名誉教授であることをご明記いただき，学会プログラムでは名誉教授を表すマークを付けて所属欄に記載する」と決定しました．名誉教授の先生方はお忘れないようにお願いします．オンライン申し込みでは例えば「*大名誉教授」とご入力下さい。

c) 講演申し込みデータとフォント・アウトライン化したアブストラクト PDF の確認について

前回までの大会と同様に，確認のために講演者名と所属，講演題目などの講演申し込みデータをウェブ上で公開します．また，アブストラクト PDF のフォントをアウトライン化した結果に文字化けがないか確認していただきます。

12月15日(火)に年会開催情報のページにおいて講演申し込みデータを公開する予定です．また，それと同時に講演申し込みとアブストラクト投稿を行ったページにおいてフォント・アウトライン化後の PDF を確認できるように設定します．講演申し込みを行った会

員は、オンラインシステムの講演申し込みのページにログインしてご確認下さい。

講演申し込みデータおよびアブストラクト PDF を確認した結果、問題が見つかった場合は、**12月18日（金）までに program21mar@mathsoc.jp** にご連絡下さい。

講演申し込みデータの軽微な字句修正につきましてはお断りする場合がありますので予めご承知下さい。また、いかなる理由があっても、フォント・アウトライン化のプロセスで生じた問題以外では、アブストラクト PDF の差し替えは固くお断りします。

アブストラクト PDF の確認については、開催情報のページからリンクしてあります「フォント・アウトライン化したアブストラクト PDF の確認について」

<https://www.mathsoc.jp/activity/meeting/keio21mar/talklist/outline.html>

をご覧下さい。また12月15日（火）に講演情報の公開とアブストラクト PDF の確認についてアナウンスしますので、そこに記載されています注意をお読み下さい。

d) 無限可積分系

このセッションについては、日本数学会理事会の責任において開催しますが、今回の実務的な責任者は井上玲会員（千葉大学）です。

e) 企画特別講演について

企画特別講演は、大学院生などの若手会員にとって、年会・総合分科会への参加をより意義のあるものにするを目的としています。講演者は、分科会評議員および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに、理事会が決定いたします。講演は、学会期日中の第1日、第3日、第4日の3日間の13:00～14:00に並行して複数の講演を開催します。この時間は一般講演・特別講演等の通常プログラムは設けません。

f) 電子メールアドレス

大会の準備のためにいくつかの電子メールアドレスを用います。以下のリストのアドレスに@mathsoc.jp を付け加えて下さい。

大会に関する全般的な照会

講演題目の確認、講演のキャンセル、会議室関係など

入会希望者の仮 ID の申し込み、Activation Key の照会

オンラインシステムに関する質問・サポート

keio21mar

program21mar

member

inquiry.mgate2021